

特集

【歩行障害・認知症をともなう LUTS の治療とケア】 歩行障害・認知症をともなう LUTS の在宅ケア

西村かおる

コンチネンスジャパン株式会社・日本コンチネンス協会*

Key Words

転倒, 老年症候群, DIAPERS, フレイル, ソーシャルコンチネンス,
包括的の下部尿路ケア

老化が進行し身体および精神機能が低下すると起こりやすい転倒, 失禁, 低栄養, 生活機能低下, 閉じこもり, 睡眠障害, うつ, 認知症, 口腔の不衛生, 足のトラブルなどは「老年症候群」だが, 単独ではなく各々の状態の悪化要因として関係し合っている。予防対策と同時に早期に治療も含め包括的なケアを多職種で実施する必要がある。

はじめに

在宅で生活する要介護高齢者の排泄が自立できているかどうかは, 要介護者だけでなく介護者にとっても負担度を大きく左右する。要介護者にとっては, たとえ家族であっても, 排泄ケアを受けることによって自尊心が傷つく。介護者にとっては心理的な負担だけではなく, おむつ交換など身体的, 経済的負担も大きい。しかし, 年齢が高くなり要介護度が上がると, 排泄の自立が困難となってくる。

認知症が進むと, 要介護度が高くなると同時に転倒のリスクも高くなる。また, 要介護度が高い

高齢者の転倒は, トイレで起こることが多いと報告されている¹⁾。そして, 転倒による骨折は機能性失禁の原因となる。

本稿では, 在宅でこれらのことを改善するにはどのような方法があるのかを検討する。

在宅の要介護者に関する疫学

平成 29 年度, 要支援や要介護に認定されている人は, 2000 年の制度開始から初の 600 万人を超えた。厚生労働省の「介護保険事業状況報告(月報・暫定)」平成 29 年 7 月分(5 月サービス分)によると, 在宅で介護または要支援者向けの介護予

Kaoru Nishimura (専務取締役・会長*)